

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表：2024年2月15日

事業所名 こどもサポート教室「きりり」岡崎庄司田校

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			法令で定められた広さを有している。届け出の通り、安全かつ有効的にスペースを活用していく。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			人員基準を満たしている。ご要望に合わせて専門性の高い職員の配置を検討する。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			玄関に段差はあるが、スロープ設置の必要性はない。事業所内に段差はない。
業務 改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			アンケートの機会以外でも、朝礼等で常日頃から問題を共有し、解決に努めている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	第三者評価を取り入れていない。しかし、年1回以上の社内監査を実施している。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			
適切 な支 援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			社内で標準化されたツールを用いている。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			個別活動が中心ではあるが、必要に応じて実施している。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			利用時に保護者と打合せを行うなどして、個に応じた課題を設定している。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか			○	個別活動が中心ではあるが、必要に応じて実施している。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか			○	個別活動が中心ではあるが、必要に応じて実施している。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			
	⑱	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			

	⑱	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ て支援を行っているか		○		引き続き、総合的な視点から育ちをサポートできる ようにしていく。
関係機 関や保 護者 との連 携関 係機 関や 保 護 者 との連 携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議に その子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参 画しているか		○		意見を求められたときは、利用児および利用状況 を把握した者が参画している。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交 換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整 （送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適 切に行っているか			○	保護者が送迎を行っているため、該当なし。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、 子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○		○	該当なし。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こど も園、児童発達支援事業所等との間で情報共有 と相互理解に努めているか			○	保護者の求めに応じて実施している。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から 障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それ までの支援内容等の情報を提供する等しているか			○	該当なし。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター 等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		事業所や法人の代表者が参加している。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない 子どもと活動する機会があるか			○	保護者のご要望に応じて、実施を検討する。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加し ているか		○		事業所や法人の代表者が参加している。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子ども の発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に 対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○		保護者のご要望に応じて実施している。
保 護 者 へ の説 明 責 任 等	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について 丁寧な説明を行っているか	○			
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適 切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			
	㉒	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開 催する等により、保護者同士の連携を支援してい るか			○	保護者のご要望に応じて検討をする。
	㉓	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制 を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦 情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			
	㉔	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予 定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して 発信しているか	○			会報の代わりに、LINE やブログ等で発信を行っ ている。
	㉕	個人情報に十分注意しているか	○			
	㉖	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報 伝達のための配慮をしているか	○			

	③7	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	保護者のご要望に応じて検討をする。
非常時等の対応	③8	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			
	③9	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			
	④0	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			
	④1	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			
	④2	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			○	食事提供が無いため、該当なし。
	④3	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			

保護者等向け 放課後等デイサービス評価の集計結果（公表）

公表：2024年2月15日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」岡崎庄司田校

保護者等数（児童数）：57 回収数：52 割合：92%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見、ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	46	6		【対応】法令で定められた広さを有している。届け出の通り、安全かつ有効的にスペースを活用していく。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	42	10		【対応】人員基準を満たしている。ご要望に合わせて専門性の高い職員の配置を検討する。
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	29	20	3	・身体障害者むけではないので現状でよい ・教室内に段差などはない。スロープは必要ない。 【対応】引き続き、安全安心な事業所運営を心掛ける。
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 ¹ が作成されているか	48	4		・臨機応変に様子を見て対応して頂いている。 ・管理者に伝えたことが、担当指導員に伝わっていないことがある。→【対応】職員間の連携を強化する。
	⑤	活動プログラム ² が固定化しないよう工夫されているか	47	5		・季節に沿った制作など、事業所の努力を感じる。
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3	22	27	【対応】保護者のご要望に応じて検討をする。
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	48	3	1	【対応】都度、利用者目線での丁寧な説明を心掛ける。
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	49	3		・子供が「こんな事が出来たよ！」と喜んで教えてくれる。 ・よい変化や課題をより明確に伝えてくれる。
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	47	4	1	【対応】引き続き、サービスの向上に努める。
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	5	7	40	【対応】ご要望を調査し、必要に応じて実施する。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	26	16		・特に苦情はない。 ・施設内でトラブルに遭っていないので分かりかねる。 【対応】引き続き、サービスの向上に努める。
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	46	6		
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	46	6		【対応】LINE やブログ等で発信を行っている。
	⑭	個人情報に十分注意しているか	50	2		・私は問題を感じないが、他者が分からないので何とも言えない。 【対応】引き続き、努める
非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	39	12	1	【対応】引き続き、周知および説明に努める。
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	47	4	1	【対応】引き続き、計画に沿って実施をする。
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	45	6	1	【対応】引き続き、サービスの向上に努める。
	⑱	事業所の支援に満足しているか	45	6	1	・他の事業所にはないサービス（個別支援）に満足。 ・支援時間が短いと感じる。 【対応】保護者様のニーズを把握するようにする。

- i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。
- ii 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。